

## 第2回天草地域自立支援協議会 地域生活部会 報告

### 痰吸引・経管栄養等を必要とする障害児・者への居宅介護支援に関する検討

☆平成27年12月15日 第2回地域生活部会開催

○第1回部会会議の内容報告

○難病当事者からの“自宅で家族と一緒に生きたい”という当会議あてに書かれたお手紙の紹介

○喀痰吸引・経管栄養等を必要とする障害児・者への居宅介護支援に関する検討

参加者からの意見と協議

「自分たち(ヘルパー)が吸引をすると、傷をつけるかもしれないという不安がある」「何かあった時に緊急対処ができるかどうかという不安」

「喀痰吸引の経験がないからという戸惑い」「事業所内でフォローの支援体制がまだないからという実情」「ヘルパーの人材不足」等々の課題に関して意見が出された。

これらの不安や質問に、医師会訪問看護センターや地域医療センター地域連携室の看護師から回答を頂き、合わせて協議が行われた。

○現在、喀痰吸引の介護支援を切望されている在宅児・者の具体的情報提供(3名)を行い、喀痰吸引・経管栄養等が可能な事業所とし検討頂けるように協議をお願いをする。

☆第2回地域生活部会開催後の経過と、平成28年度の予定

#### ケース①

・天草圏域に熊本の病院から退院してこられた幼児への支援が「訪問看護」「居宅介護(喀痰吸引は今後可能となる様に前向きに検討中)」「短期入所」の連携でスタートする。

#### ケース②

・天草圏域在住の難病対象者への支援が「訪問看護」「居宅介護(痰吸引可)」「居宅介護(痰吸引不可)」「訪問入浴」「訪問リハ」「往診」等が連携して実施できるようにサービスを調整できる。

#### ケース③

・天草圏域在住の重症心身障がい者に対して「生活介護(重心対応)」「居宅介護(今後研修等を受けて痰吸引可)」等、連携して援助できるようにサービスを調整する。

・研修等に関する詳細な問い合わせは、天草市福祉課で受け付け頂く。

・上天草市においては、ニーズがあり次第対応する。

・喀痰吸引を行う居宅介護支援事業所の人材確保を今後は積極的に行う方向で検討。

・喀痰吸引を行う訪問介護職員に必要な「実地研修」を指導する指導看護師等が、今までは天草圏域全体で2~3名だったが、今回の部会等での話し合いにより5名以上の看護師と1名の医師が研修を受け、新たに指導者となって頂く事が出来た。これによって訪問介護職員が「実地研修」を非常に受けやすくなった。

・天草圏域において喀痰吸引の指導者を数多く確保(配置)できたことにより、訪問介護職員の基本研修等を天草で実施できる可能性も広がってきた。より研修を受けやすくなる事により、更に喀痰吸引可能な訪問介護職員が充実し、医療的ケアが必要な方々への在宅支援の向上につながると思われる。